

共同募金会が遊具などを寄贈

綾町共同募金会は、昨年10月の「赤い羽根共同募金」に町の皆さんから寄せられた募金の配分として、綾小・中学校、町立保育所、綾保育園、綾幼稚園、子育て支援センター、児童館にワイド液晶ディスプレイやバランスゲームなどの遊具や教材を寄贈しました。

皆さんのご協力ありがとうございました。今後ご支援やご協力をお願いします。



町産ライチ出荷報告

町産ライチの出荷報告のため、ライチ出荷部会(大隈敏伸部会長)が粕田町長を表敬訪問しました。今年のライチは糖度が高く、さわやかな風味でジュシーにできあがっており、ふるさと納税の返礼品でもすぐに受付終了するほどの人気。町は今年度、「綾町ライチ産地づくり推進会議」を立ち上げ、生産者・JA・町・関係機関が連携して生産拡大を目指し体制づくりを行っています。



錦原花壇にベンチ寄贈

綾中学校昭和49年卒業生(中神耕二代表)は、還暦記念として綾ナチュラルガーデン錦原に木製のベンチ一式を寄贈しました。中神代表は「綾の自然風景になじむこの新しい多年草花壇で、多くの人にゆっくり過ごしてほしい」と粕田町長に目録を渡しました。花壇はボランティアやシルバー人材センターが定期的に手入れをしており、季節によって風情が変化する花壇になっています。



クロスワード

テーマ/綾の動物(第2弾)

二重枠の文字をアルファベット順に並べると答えになります。「感染症の予防には、毎日体温を測るなど、体調を□□□□□□が大切です」(答えは10月号に掲載)

ータテのカギー

- 綾の森を代表する鳥。大型のタカで漢字では熊鷹
- 地元では「あんちゃん」と呼ばれる人間に近縁のほ乳類
- 日本最大のトンボ ○○ヤンマ
- 川底の石にくっついているヒルの仲間。人間の血は吸わない ○○○ル
- 羽が美しい甲虫。角度により色が変わり玉虫色というヤマト ○○○シ
- アユは○○○○ウオという魚の仲間。細長い夏野菜の臭いがする
- 日本人になじみ深い小さな魚。群れて泳ぐ姿は○○○の学校
- 最近各地の森で増えている大型の草食動物。オスは角がある
- 翼を広げると2mにもなる大型の稀少な猛きん類・イヌ○○

ーヨコのカギー

- いじめるとクサイ臭いを出す○○ガメ
- 繁殖時期に鮮やかな色になる魚。漢字では追河と書く○○○ワ
- 昔から日本の田んぼにいる丸いタニシ。今では絶滅危惧種の○○○○○
- 地元の方言でカエルのこと
- 悪臭を放つことで知られ、多くの種類がいる○○○○。漢字では亀虫
- 川に生息する鵜の仲間。漁業被害を出す厄介者
- 太く黄色いくちばしが特徴の鳥で「しろくにじゅーし」と鳴く
- 敵に会うとおしりをあげて攻撃するアリ。○○アゲアリ

1	2		3	4	
5		6		B	
				7	8
	A				
9	10		11		
			12	13	
14		E		15	

8月号「足あとクイズ」の答え

答え ニホンイノシシ

足には4本の指とふたつのヒヅメがあり、森などに住んでいます。里山に姿を現すことも。「猪突猛進」と言われるように突進力が強い半面、神経質で警戒心が強い動物です。



ユネスコエコパーク通信

秋のバードウォッチング



オスのモズ

オスのモズは、モズのはやにえが有名です。すね。スズメよりひと回り大きいサイズですが、猛きん類のようなかぎの立派なくちばしを

持つており、これを上手に使って虫やカエルなどさまざまな生き物を捕まえ、たまに木の枝の先端や有刺鉄線の針など尖ったものに刺します。秋になり涼しくなると「キーキーキチキチキチ」という鳴き声で盛んに聞こえてきます。これは、「高鳴き」といってモズが自分の縄張りを周りにアピールしている鳴き声です。もし、モズの高鳴きが聞こえたら、周りの木のてっぺんや電線の上など見晴らしがよさそうな場所を探してみてください。

次はジョウビタキです。あまりなじみがないかもしれませんが、秋の代表的な鳥で、公園や人家の庭など人と距離が近い場所にも現れます。オスは灰色の頭に黒い顔、おなかには鮮やかなオレンジ色。メスは全体的に薄茶色の落ち着いた色合いをしています。大きさは、スズメと同じくらいです。ジョウビタキもモズと同じく、秋になると縄張り宣言をします。「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴く合間に「カッ、カッ」という石をたたいているような音を入れた鳴き方です。まるで火打石をたたいているような鳴き声！名前の由来にもなっています。

バードウォッチング(野鳥観察)は図鑑や双眼鏡を持っていないなくても気軽にできます。例えば、散歩の時にどんな鳥がいるか探してみたり、仕事の休憩がてらのんびりとさえずりを聴いたり、日常生活の中で野鳥を観察することができます。今回は2種類の野鳥を紹介しますが、いずれもこれからの季節に身近に観ることができる野鳥です。ぜひ皆さんも探してみてください。



オスのジョウビタキ

column シマヘビ

田んぼの周りや道路によく出てくる、日本固有の代表的なヘビ。カエルやネズミなどを主に食べています。毒は持たず臆病な性格ですが神経質な面もあるため、身の危険を感じると威嚇してかみついてくることもあります。

背中側に4本の縦縞があり、眼が赤いことが特徴ですが、中には全体が黒く光沢を持つものもときどき見られます。この黒いシマヘビは、その色から「カラスヘビ」と呼ばれています。

